

未来や夢、目標は言語化する

これは先生が入院して3か月後にやっと右手でペンが持てるようになり書き始めた字です。握力計の数字は0でした。ペンを握って書いているというよりもペンを引っ掛けて体で回してるって感じです。

筆圧も弱く形になっていません。

目に見えるような進歩もなく、自分の右手は元のようになるのだろうかと不安でいっぱいでした。

そこで、動く左手で自分の「未来」「夢」「目標」「思い」を「言語化」して、つぶれそうになった心を奮い立たせました。

これは、その時書いて壁中に貼っていた一部です。

先生は入院中、たくさんの人に支えられてリハビリも頑張られて、ここに立っています。たくさんの子が握手をしてくれます。みんなにたくさん幸せをもらっています。

みなさんには4月に「私の埼玉県一」を書いてもらいましたね。このように、「未来」や「夢」、「目標」の言語化は、私たちが自分の可能性を最大限に引き出し、これらを実現するための鍵です。そして、それらを通じて、自己成長と成功に向かって進むことができます。

また、「言語化する」ことで、こうなると思います。

1点目は、自分の想いを改めて整理することができ、自身の「未来」「夢」「目標」を、具体的に、そして客観的に見ることが出来ます。

2点目は、その想いに共感し、支援し、協力してくれる人が自ずと集まってくるという現象が起こります。

先生の時は、医者、看護師、理学療法士や仲間たち、そして、たくさんのお教子たちでした。

つまりは、未来や夢、目標を叶えたいのであれば、それを具体的に人に語る、表現する。言語化するという工程は確実に必要になってくるということです。本当に、自分でできることなんてちっぽけなものなのです。

是非、皆さんも自分の「未来」「夢」「目標」を書き出し、毎日見ましょう。そしてその実現に向けて前進してください。

最後に先生から全校のみなさんにメッセージを送ります。

- ・夢や可能性をあきらめるな!!
- ・自分の限界を決めるな!!